関西サッカー協会
公式記録

会場責任者	主審サイン
浦田絋祐	山本 真緒

大会名	第26回関西高等学校女子サッカー選手権大会 兼 第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西大会	決勝戦	試合番号 ⑧	平成29年11月25日 (土) 13 : 30 キックオフ	競技時間 80分 / 観衆 150 人	記録者 木下 光貴
会場	宝が池球技場	天候 (晴)・曇・雨	風 強・弱・(無)	ピッチ 土・天然芝・(人工芝)	状態 (良好)・不良・泥沼	審判 主審 山本 真緒 氏 / 副審 A1 佐藤 浩太 氏 A2 木戸 翔也 氏 / 第4の審判員 植野 将大 氏

【チーム名】			【チーム名】
日ノ本学園 高等学校 kick off (先)	1	0 前半 1 / 1 後半 0 / 延長前半 / 延長後半 / 7 PK戦 6	1	大商学園 高等学校 (kick off) 先

PK戦（日ノ本学園）

背番号	13	29	1	9	11	2	10	3	5	7	
	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○ ×

PK戦（大商学園）

背番号	10	4	13	6	8	7	2	1	15	17
○ ×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	×

シュート（得点者は*印）

交代選手	交代時間	延長後半	延長前半	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置	位置	背番号	選手名	学年	前半	後半	延長前半	延長後半	交代時間	交代選手
	分					3	米澤 萌香	1	GK	GK	1	見矢 明日香	1					分	
	分					3	宮崎 音々	2	DF	DF	2	西垣内 由唯	3	1				分	
	分					3	金平 莉紗	3	DF	DF	3	根間 陽彩	2					分	
	分				1	2	杉岡 真里奈	15	DF	DF	4	林 涼香	2					分	
	HT 分					1	渡邊 那奈	17	DF	DF	⑩	林 かおる	3					分	
	45 分					3	松永 未衣奈	6	MF	MF	5	日野 くるみ	2					HT 分	
	分			* 1		3	伊藤 美玖	7	MF	MF	7	高原 天音	1	* 1	1			分	
	68 分					3	吉間 かれん	8	MF	MF	8	林 みのり	3		1			分	
	分			1		3	内藤 夏鈴	11	MF	MF	13	竹井 帆波	2	1				分	
	分			1		3	牛島 理子	⑤	FW	FW	9	水江 彩乃	2	1				72 分	
	分			2		2	澁川 鈴菜	10	FW	FW	11	前川 望愛	2					62 分	
交代要員																			
番	分					1	小笠原 梨紗	20	GK	GK	12	井上 沙季	2					分	番
17 番	分					3	会沢 日花里	13	DF	MF	6	藤原 安佑	3					分	11 番
番	分					2	川本 和	24	DF	DF	14	井上 愛未	3					分	番
6 番	分					1	平井 杏幸	9	MF	MF	17	的場 望杏	2					分	9 番
番	分					2	川名 みのり	21	MF	MF	18	冨浪 千里	3					分	番
番	分					2	平 佳菜恵	22	MF	FW	15	西山 皐月	3					分	16 番
8 番	分					1	増永 朱里	29	FW	FW	16	青木 柚香	1					62 分	5 番
		0	0	5	1	小計	6	合計	シュート数	合計		6	小計	4	2	0	0		

警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				8			1	7	GK	1	4			5		分			
	分				0					CK	5				5		分			
	分				4			3	1	直接FK	1	1			2		分			
	分				0					間接FK	2	2			4		分			
	分				0					PK					0		分			

得点

時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過
32 分	大商学園	高原 天音		右2②∩クロスバーはね返り中1⑦HS	分				
46 分	日ノ本学園	伊藤 美玖		左1⑧ー中1⑩×中2⑦S	分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分					分				
分									

《略号例》 ～:ドリブル →:ゴロのパス ∩:浮球のパス H:ヘディング HS:ヘディングシュー X:混戦 S:シュート

戦評者氏名 (井尻 真文)　勤務先又は所属 (私立星翔高等学校)

緊迫した雰囲気の中、両チームともに4－4－2のシステムで決勝戦が開始される。立ち上がりから両チームともに中盤での球際の攻防が激しく、この決勝戦にかける想いがとても良く伝わる。時間とスペースを消しあい、主導権を握ろうとする展開が続く。日ノ本学園はFW⑩澁川・FW⑤牛島の2トップの関係性から起点となり前向きの選手がタイミング良く関わりながら3人目が相手の背後を取りに行きサイド攻撃を仕掛ける。また、相手の守備の入り方を観ながら、丁寧にビルドアップをして前線で数的優位を作ろうとする攻撃の戦術がみられた。対する大商学園はFW⑨水江・FW⑪前川を起点に相手を中央に集結させながらサイドに展開してドリブルの仕掛け、サイドバックが関わりながら数的優位を作りに行くなど、迫力のあるサイド攻撃を展開する。またMF・DFの選手がボール状況の視察から予測して出足が早く前向きでボールを奪う機会が増えるなど、時間の経過とともに流れを掴みに行く。また、サイド攻撃を主とした攻撃の戦術からCKが多く、多彩さも見られた。お互いに相手の良さと技術を消しあいながらの前半戦は大商学園が32分に先制して折り返した。後半戦に入り両チーム献身的なハードワークと戦術行動は継続したまま、日ノ本学園がMF⑦伊藤のミドルシュートで同点に追いつき1－1で同点でPK戦へともつれ込み7－6で日ノ本学園が優勝を決める。関西の決勝戦に相応しくタフに、テクニカルに、スピーディーなレベルの高いサッカーを展開してくれた両チームの健闘を称えたい。